

令和8年度 当初予算資料 (ビジュアル版)



岡山県 真庭市 総務部財政課

令和8年2月13日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和8年度 当初予算編成の考え方

令和8年度当初予算は、世界情勢の不安定化による物価高騰、異常気象、地域間格差等、先が見通せない厳しい経済情勢や人口減少社会の進む中であっても、真庭市を次世代に引き継いでいくため、「真庭ライフスタイル」の多彩性を一層充実・成長させるための予算として編成しました。

「第3期真庭市総合戦略」に沿った取組推進

「第3期真庭市総合戦略」を基に各種施策を推進します。

- 少子高齢化に伴う「人口減少対策」を最重要課題として位置づけ、こども子育て環境の整備や関係人口の創出など、未来へつなげる取組へ積極的に挑戦します。
- 人口減少対策を全力で取り組むと同時に、人口が減少しても地域がしっかりと機能し、市民一人ひとりが安心して豊かに暮らし続けられる持続可能な社会の構築を目指します。

地域振興対策の強化

地域振興施策を総合戦略へ盛り込み、これまで以上に人口減少対策を強力に推進します。

物価高騰に伴う経済対策

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者などへの喫緊の課題に令和7年度予算も含め、切れ目なくしっかりと対応します。

持続可能で健全な財政運営

あらゆる歳入確保策を講じるとともに、DXの推進等による歳出削減に取り組めます。

令和8年度 当初予算の概要

- 一般会計 当初予算計上額 **348** 億円 (対前年度比 2.4%増)
- 全会計 当初予算計上額 **551** 億円 (対前年度比 1.4%増)

- ・ 一般会計の総額は、前年度の肉付予算から8.3億円増加し、**過去最大**の予算規模
- ・ 「第3期真庭市総合戦略」※1を踏まえ、未来交付金経費として3.7億円を計上
- ・ 「こどもまんなか」を掲げ引き続き「こどもはぐみ応援プロジェクト」※2として19.4億円を計上
- ・ 引き続き、賃金上昇や価格高への影響に対応するため、物価高騰対策関連予算に1.8億円を計上
- ・ 財源確保対策として、税外収入である「ふるさと納税」を確保し5.5億円を計上

※1、2については、
別途配布資料参照

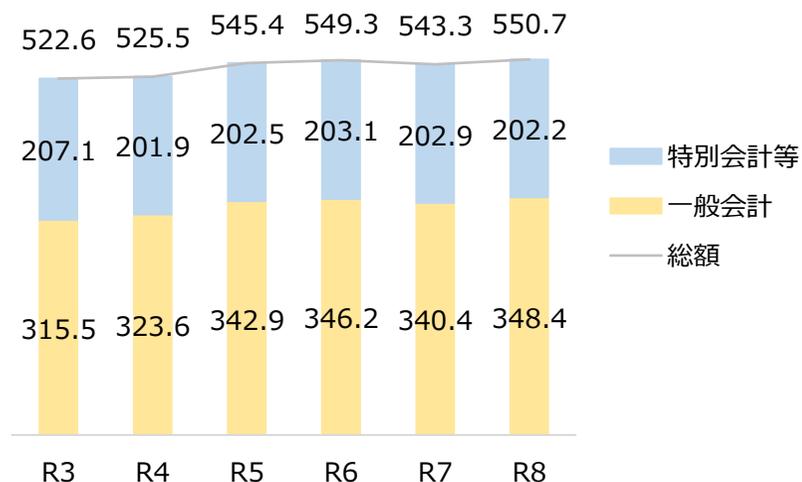
各会計予算額

(単位：百万円)

	R8当初	R7 (肉付後)	比較増減	増減率
一般会計	34,847	34,035	812	2.4%
特別会計	12,520	12,514	6	0.05%
企業会計	7,698	7,781	△83	△1.1%
総計	55,066	54,330	736	1.4%

予算額の推移

(単位：億円)



第3期真庭市総合戦略

別途配布資料参照

概要（期間：R8年度～R11年度）

「第3次真庭市総合計画」における注力していく取組を横断するプロジェクトとして、最大の課題である**人口減少対策**を位置づけています。その**実行計画**として、全ての政策の中から、「総合計画」に合致し、特に人口減少抑制と人口減少社会における持続可能な地域づくりに**直接的に短・中期的に効果が見込まれる分野に絞り**、期間内に実施すべき具体的な政策・施策・事務事業を「**第3期真庭市総合戦略**」として**明確化**しています。

4つの基本目標

① 真庭の未来を支える「しごと」を生む・つなぐ、伝える

重点ターゲット：
学生、青年層、産業界

② 地域内外のつながりと人の流れを生み、多彩な暮らしを実現する

重点ターゲット：
青年層、女性、外国人、域外関係者

③ こどもと若者の活力があふれ、世代を超えた支え合いと学び合いを育む

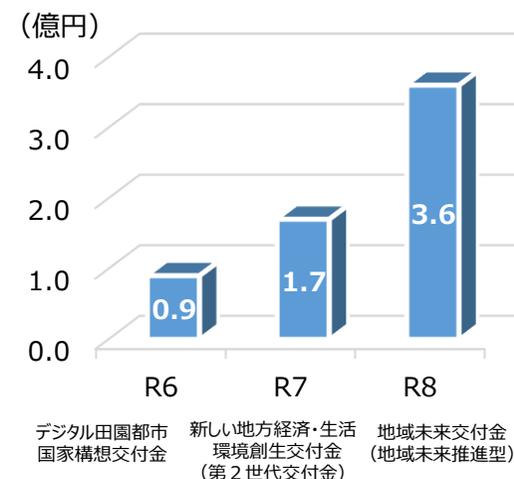
重点ターゲット：
こども、青年層、高齢者

④ 安全安心とまちの魅力が調和する、誰もがずっと住みたくなるまちをつくる

重点ターゲット：
青年層、交通等弱者、域内関係者

持続可能な地域づくりの実行

地方創生関係交付金の動き



基本目標：1) 真庭の未来を支える「しごと」を生む・つなぐ、伝える

1/2

地域資源を活かし切る仕組みを構築し、地域内経済循環の創出へ積極的に取り組みます。また、未来の地域を担う人材育成と持続可能な地域産業基盤の強化に取り組んでいきます。

地域産業の持続、担い手確保

新 地域資源活用事業 5,678万円 【産業政策課】

- ・地域産業支援
(ビジネスマッチング地域の若手のつながり創出などの伴走支援)
- ・豊かな自然を生かしたネイチャーポジティブ経済の推進
(蒜山ネイチャーウィーク開催、ネイチャーポジティブ宣言)
- ・木造建築の未来検討
(グリーンブルヒルゼン「風の葉」など)



多様な働き方応援事業 157万円 【産業政策課】

R7年度女性活躍調査を踏まえ、多様なニーズに沿った就業の選択肢を広げるためローカルキャリア支援をする事業者に対して支援を行います。

- ・ライフステージにあった働き方のサポート
- ・デジタルスキルの習得サポート

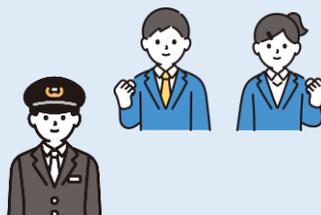
【想定習得スキル】

- ・営業力講座
- ・WEBライティング
- ・動画編集
- ・見積作成講座



拡 地域人材育成事業 1,807万円 【産業政策課】

- ・スタートアップ育成 (小学生向けプログラムあり)
- ・高校生チャレンジ支援
- ・運転免許取得支援 (**拡充**)
(二種免許取得補助5万円⇒30万円/従事者)



就農支援対策事業 682万円

【農業振興課】

- ・真庭起農スクール開催
- ・農地循環の仕組み構築



観光地域づくり事業 7,262万円 【産業政策課】

- ・観光戦略改定 (既存戦略期間：H29～R8)
- ・国内外プロモーション



基本目標：1) 真庭の未来を支える「しごと」を生む・つなぐ、伝える

2/2

地域資源を活かし切る仕組みを構築し、地域内経済循環の創出へ積極的に取り組みます。また、未来の地域を担う人材育成と持続可能な地域産業基盤の強化に取り組んでいきます。

農林業、エネルギー基盤

- 新 真庭版農業支援サービス構築事業** 6,082万円【農業振興課】
- ・事業体設立（出資費用等）
 - ・地域活性化企業人制度を活用して人材確保
 - ※久世校地内へ事務所設置予定

畜産・酪農対策

- 新 畜産バイオマス発電施設整備事業** 1.0億円【農業振興課】
- 家畜糞尿を活用したバイオガス発電による資源循環システムの実証を蒜山で行い、実証モデルを受け地域波及を目指します。
- ・中四国酪農大学校へモデルプラント整備（R8～R9）
 - ※概算総事業費 9.5億円

- 新 酪農等集中対策事業** 1.1億円【農業振興課】
- ・設備導入補助
 - ・草地整備実証
 - ・畜産・酪農経営支援
 - ・担い手育成支援（第三者継承）
 - ・脱脂粉乳等の活用推進 など



- 新 持続可能な林業体制構築** 660万円【林業・バイオマス産業課】
- ・民間事業者と協業による林業の推進
 - ・毎木調査などをデータ化（20㍻）
 - ・ゾーニング実証（20㍻）
 - ・作業道維持管理（4路線、約5,000㍻）
 - ・作業道検証（2路線、約1,500㍻）



- 脱炭素社会構築推進** 2,325万円【地域エネルギー政策課】
- ・ゼロカーボンシティまにわ促進補助（太陽光、EV自動車等の導入支援）
 - ・脱炭素市民会議開催、普及啓発実施
 - ・真庭市地球温暖化対策実行計画策定（次期計画期間：R9～R13）

対象	補助率	上限額	備考
太陽光発電設備		15万円	市独自
高効率給湯器	1/2	5万円	
次世代自動車		30万円	普通車は市独自
定置型蓄電池	1/10	10万円	
断熱窓		5万円	

基本目標：2) 地域内外のつながりと人の流れを生み、多彩な暮らしを実現する

1/2

地域の魅力（資源）を活かした「関係人口」の創出へ積極的に取り組みます。また、地域コミュニティの強化や共生社会を実現するため、地域住民がまちづくりに関与できる機会の提供や仕組みの構築、誰もが活躍できる地域づくりなどに取り組んでいきます。

人の繋がりづくりと流動化促進

関係人口づくりの強化

- 新** **交流・定住推進構築** 6,746万円 【地域みらい創生課】
・関係人口創出事業
・大学生等のフィールドワークへの支援



- サテライトキャンパス推進事業** 1,265万円 【政策推進監】
久世校地の跡地を活用して学民官活動交流拠点を整備活用
・岡山大学WS

- 拡** **ふるさと納税推進事業** 2.8億円 【地域みらい創生課】
・ふるさと納税の積極確保（R7:4.5億円⇒R8:5.5億円）

- 新** **企業版ふるさと納税推進事業** 556万円 【産業政策課】
・複業人材を活用した企業版ふるさと納税の獲得
・都市部でのプロモーション

文化・芸術

- 拡** **森の芸術祭開催** 2,991万円 【産業政策課】
・プレイベント開催
「水」をコンセプト・テーマにイベント企画
開催時期：9月下旬～10月下旬



- 拡** **芸術アウトリーチ事業** 960万円 【スポーツ・文化振興課】
・派遣型：芸術家が出向いて芸術体験講座を開催
学校アウトリーチ（音楽、ダンス、映画作成など）
地域で楽しむ文化芸術体験（地域団体、企業など） **（拡充）**
・鑑賞体験型：市内小中学生を対象にした、芸術鑑賞機会の提供
・市内ホール等でのクラシック音楽鑑賞
・蒜山ミュージアムでの現代美術鑑賞 **（拡充）**

基本目標：2) 地域内外のつながりと人の流れを生み、多彩な暮らしを実現する

2/2

地域の魅力（資源）を活かした「関係人口」の創出へ積極的に取り組みます。また、地域コミュニティの強化や共生社会を実現するため、地域住民がまちづくりに関与できる機会の提供や仕組みの構築、誰もが活躍できる地域づくりなどに取り組んでいきます。

地域共生社会の実現

新 若者・外国人支援 374万円 【くらし安全課】
・相談窓口設置、環境整備



拡 男女共同参画推進事業 903万円 【くらし安全課】
・社会構造調査（**拡充**）
ジェンダーギャップの状況把握
それが与える社会への影響分析
・啓発イベント開催



共生社会・SDGs推進 690万円 【総合政策課】
・対話カフェ、円卓会議開催

パラスポーツ普及推進事業 150万円 【スポーツ・文化振興課】
・パラスポーツ体験会開催、心のバリアフリー授業実施

d X推進による多様化



新 「まにあぶり」活用推進 8,248万円 【総合政策課】
・AIを活用した「スマホ版市役所コンシェルジュ」を研究します。
（市民からの市役所相談のあらゆるケースをAIに学習させることで、「まにあぶり」から相談・解決できる仕組みの検討・構築を目指す。）

新 公金収納デジタル化 2,050万円 【市民課】
・セミセルフレジの導入による
市役所来訪者サービスを向上します。
（本庁(2台)及び全振興局(各1台)へ導入)



地域振興事業強化

新 郵便局連携実証 2,000万円 【地域みらい創生課】
・コミュニティ・ハブとしての活用実証
（窓口設置、オンライン活用など）
・買物・地産品配送支援 など



地域振興事業 8,977万円 【地域みらい創生課】
・各振興局へ地域魅力化コーディネータ配置（**拡充**）
（R7：4人⇒R8：9人）
・各振興局事業の積極推進（後掲）



※イメージ（写真は地域おこし協力隊）



基本目標：3) こどもと若者の活力があふれ、世代を超えた支え合いと学び合いを育む

1/3

真庭市に生まれ、暮らす全てのこどもたちが、将来にわたって幸せに暮らすことができるまち、そして、こどもを産み、育てたいと願う全ての市民を応援し、子育てに夢や喜びを感じられるまちを目指し、こどもまんなかの取組を進めていきます。

こどもまんなか応援

新 **子どもの権利条例制定** 707万円 【総合政策課】
人口減少・少子化が進む中であっても、子ども一人ひとりが安心して育ち、意見を言い、自分らしく成長できる環境を地域全体で支える仕組みを整えます。

- ・R8：子どもの権利条例制定に向けた準備
(シンポジウム開催、ワークショップ実施など)
- ・R9：条例制定



拡 **妊産婦ケア事業** 133万円 【こども家庭センター】

・不妊・不育治療に対する交通費支援 (拡充)

不妊・不育治療は県南や県外の医療機関での受診が主となり、通院に係る費用を助成することで妊婦支援及び少子化対策の拡充を図る。

支援内容：

通院に要した往復交通費の8割を補助 (上限3万円)

拡 **こどもはぐみ応援事業** 1,037万円 【子育て支援課】

- ・公共施設を活用した居場所づくりの推進 (新規)
(対象施設：全振興局、エスパス、風のパレットなど)
- ・こどもまんなかまつり開催
- ・子育て世代へのプロモーション (情報発信)



こども園等・小中学校の給食費の支援 3,306万円

【子育て支援課、教育総務課】 (物価高騰対策)

国制度を補完し小学校の給食費無償化を実現するほか、こども園等・中学校給食費の物価高騰分を支援し、保護者負担を軽減します。



基本目標：3) こどもと若者の活力があふれ、世代を超えた支え合いと学び合いを育む

2/3

真庭市に生まれ、暮らす全てのこどもたちが、将来にわたって幸せに暮らすことができるまち、そして、こどもを産み、育てたいと願う全ての市民を応援し、子育てに夢や喜びを感じられるまちを目指し、こどもまんなかの取組を進めていきます。

こどもまんなか応援

新 地域スポーツ・文化推進（部活動の地域展開） 2,235万円

【スポーツ・文化振興課】

中学校の休日部活動の地域展開を推進していくため、将来にわたって子供たちが継続的にスポーツや文化芸術活動に親しめる環境を整備します。

- ・指導者研修会開催
- ・人材バンク設置・運営、コーディネーター設置
- ・認定地域クラブの活動支援
- ・生活困窮者支援



高校魅力化

拡 教育魅力化推進事業 4,366万円 【教育総務課】

- ・郷育魅力化コーディネーター設置（5名⇒7名）（**拡充**）
高校を中心とした情報発信を行う人材を新たに配置

・高校魅力化事業推進

- 市内2校3校地に対する高校魅力化を支援します。
- 短期海外留学支援（市内2校3校地900万円支援）
- 資格取得支援（英検・漢検・技能系など、受験料の1/2支援）など

新 高校サテライトキャンパス推進事業 1,379万円

【学びの創造推進監】

久世校地に高校サテライトキャンパスを作り、高大民連携の魅力ある学びの仕組みを構築する

- ・運営体制構築
- ・地域共創ワークショップ及び魅力的なカリキュラムの実施

久世第二こども園（仮称）整備 11.3億円 【子育て支援課】

- ・老朽化した保育園2園を機能集約した新しいこども園を
真庭高校久世校地跡地に整備します。

（R6設計、R7～R8工事）

- ・就労形態の多様化、様々なニーズに対応し、
子育て環境の充実へ

※概算総事業費 19.4億円



新 美甘こども園移転 7,312万円 【子育て支援課】

- ・老朽化した保育園の機能を、美甘小学校内へ機能移転します。
（R7設計、R8工事）※概算総事業費 7,749万円

新 天津小学校区放課後児童クラブ整備 1,907万円 【子育て支援課】

- ・天津小学校敷地内へ放課後児童の専用施設を整備します。
（R8：設計、地質調査・測量、R9：工事）※概算総事業費 1.0億円

基本目標：3) こどもと若者の活力があふれ、世代を超えた支え合いと学び合いを育む

3/3

真庭市に生まれ、暮らす全てのこどもたちが、将来にわたって幸せに暮らすことができるまち、そして、こどもを産み、育てたいと願う全ての市民を応援し、子育てに夢や喜びを感じられるまちを目指し、こどもまんなかの取組を進めていきます。

学び、挑戦の環境

新 **学びのサイクル推進事業** 183万円【学校教育課】
算数・数学の基礎学力向上のため新たな取組を実践します。
対象：小中学校の児童生徒

学びの サイクル

テスト実施（児童・生徒）
⇒採点分析（専門事業者）
⇒分析結果研究（先生）
⇒フィードバック（先生⇄生徒）
⇒テスト実施（児童・生徒）



拡 **学びのデジタル化** 6,731万円【学校教育課】
・児童・生徒の1人1台端末の更新（R8～R10）
・デジタルドリル導入（**拡充**）
（～R7：ドリル・協働学習 ⇒ R8：ドリル・協働学習・**テスト機能**）



遷喬小学校改修 2.8億円【教育総務課】
・学習環境改善のための内部改修（R6設計、R7～R8工事）
・施設使用環境等改善のための外構改修（R8設計、R9工事）

みんなではぐぐむ（世代間交流）

旧遷喬尋常小学校校舎整備・活用事業 4,356万円
【スポーツ・文化振興課】
・調査工事（R7～R8調査、R10～R15保存修理）
・魅力発信イベント開催



真庭郷育構築事業 418万円【生涯学習課】
・真庭固有の文化遺産を活用した地域づくり
（勝山城下町、蒜山原戦争遺跡群、早川代官、山中一揆など）

基本目標：4) 安全安心とまちの魅力が調和する、誰もがずっと住みたくなるまちをつくる 1/2

障がいのある方や高齢者にとって、安全安心な生活環境の整備は重要であり、障がい福祉サービスの充実や予防医療の推進、医療アクセスの向上、健康教育の拡大、インフラ（交通、防災等）の整備などに取り組んでいきます。また、空き家対策、地域の足確保などを積極的に進めるとともに、市民協働による資源活用の取り組みを進めます。

安全安心なまちづくりの推進

拡 地域防災力強化事業 1,505万円 【危機管理課】

- ・地域防災力の強化
市民向けの訓練・防災講座開催
自主防災組織支援（防災資機材導入、防災士資格取得等）
- ・災害時孤立集落対策（ドローン活用）
ドローン実証
（R7:検証飛行、R8:検証飛行・マニュアル作成、R9:輸送訓練）



新 美新分署庁舎整備 2,546万円 【消防本部】

- ・老朽化した分署庁舎の更新整備（R8～R10）
※概算総事業費 6.2億円
R8：用地購入・造成工事
R9：建築設計
R10：建築工事

拡 空き家対策事業 7,750万円 【まちづくり推進課】

- ・空き家情報バンク登録促進奨励金 登録1件3万円（新規）
- ・空き家購入補助（取得費の1/3 上限80万円）
- ・空き家改修補助金（改修費の1/3 上限100万円）
- ・家財道具等撤去補助金（経費の3/4 上限20万円）
- ・空き家除却補助（経費の1/3 上限50万円）



新 医療機関等物価高騰対策支援事業 1,437万円

【健康推進課】（物価高騰対策）

- ・エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策支援
対象：病院、診療所、歯科診療所、
調剤薬局、助産所
支援内容：
基本支給額10～30万円＋1病床5千円加算

新 福祉事業所等物価高騰対策支援事業 2,765万円

【福祉課、高齢者支援課】（物価高騰対策）

- ・エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策支援
対象：施設入所支援事業所、就労支援事業所、
居宅介護事業所、通所介護事業所、
養護老人ホームなど
支援内容：
基本支給額10万円＋定員1人当たり3～5千円加算

新 重伝建対策推進事業（勝山地域振興事業） 171万円

【勝山振興局地域振興課】

- ・重伝建対策予備調査
（建築履歴など）
- ・歴史文化伝承団体支援



基本目標：4) 安全安心とまちの魅力が調和する、誰もがずっと住みたくなるまちをつくる 2/2

障がいのある方や高齢者にとって、安全安心な生活環境の整備は重要であり、障がい福祉サービスの充実や予防医療の推進、医療アクセスの向上、健康教育の拡大、インフラ（交通、防災等）の整備などに取り組んでいきます。また、空き家対策、地域の足確保などを積極的に進めるとともに、市民協働による資源活用を取り組みを進めます。

地域公共交通の維持・確保



拡 JR利用促進事業 2,323万円 【くらし安全課】
地域間を結ぶJR姫新線や路線バスの維持確保に向けて、利用促進事業に取り組み、駅周辺施設管理と一体的に待合環境整備を行います。

- ・駅舎管理（維持管理、環境整備）（**拡充**）
中国勝山駅舎の改修（間仕切り・エアコン設置）
⇒JR株配当金活用
- ・利用促進イベント開催
まに鉄フェスタ（スタンプラリー、マルシェ）などイベント開催
市民・民間主体のイベント公募、鉄道の乗り方教室開催（**拡充**）
鉄道利用による「まにポイント」付与キャンペーン実施（**拡充**）



新 バス乗務員確保対策 540万円 【くらし安全課】
・求人情報発信に要する経費を支援（1/2補助、上限30万円）
・新乗務員を採用した事業者を支援（50万円/1人）（**物価高騰対策**）

新 コミュニティバス更新 5,035万円 【くらし安全課】
・新たな更新計画を作成し「ライフサイクルコスト」の縮減を図ります。
⇒バス2台更新：56人乗1台、28人乗1台

（更新目安）

車両種別	旧計画	新計画
定員16人以上	■登録15年以上	■登録6年目で更新

環境・循環社会の実現

生ごみ資源化地域産業創出事業 1,500万円 【環境課】
事業系容器包装付生ごみ分別の実証を行いスキームを検討します。また、生ごみ分別に係る普及啓発（自治会・事業所説明会、まにくるーん祭企画）を行います。

現行



現行：排出事業者⇒分別されず可燃ごみへ

実証



実証：排出事業者⇒容器包装分別⇒資源化

地域振興対策事業（各振興局）

9.0千万円

総合戦略を踏まえて人口減少が進む中、「人口×活動量」を具体的に実践・強化するため、各地域振興事業の推進を図ります。

蒜山地域振興事業 847万円 【蒜山振興局地域振興課】

- ・里山再生（小規模湿地の簡易診断調査）
- ・草原保全（山焼き防火帯刈払い、茅活用魅力発信業務）
- ・資源循環（がま細工生産振興会補助金）



久世地域振興事業 339万円 【地域みらい創生課】

- ・市街地形成（久世まちワークショップ）
- ・スマートストアによる地域間連携（久世・勝山・落合）



美甘地域振興事業 715万円 【美甘振興局地域振興課】

- ・お試し住宅整備（教員住宅⇒お試し住宅）
- ・ハラペーニョ生産、販売拡大に向けた加工品の商品開発



落合地域振興事業 994万円 【落合振興局地域振興課】

- ・まちなか拠点（商店街など）を活用した交流の場づくり
- ・農村RMOを中心とした新たな連携体制構築（指定地域共同活動団体制度活用）
- ・カメラナ生産、空き家対策の推進
- ・女性が住みやすい地域づくり（おしゃべり交流会、コンサート等開催）
- ・地域の自主財源確保（「地域版ふるさと納税」促進活動）



湯原地域振興事業 522万円 【湯原振興局地域振興課】

- ・温泉活用（露天風呂の日イベントなど）
- ・二川みらいづくりセンターを拠点とした取組（観光・交流・定住）
- ・歴史の承継と観光活用（式内八社）



北房地域振興事業 942万円 【北房振興局地域振興課】

- ・空き家対策事業（実態把握調査）
- ・ホテルや文化遺産等の地域資源を活用した郷育事業



勝山地域振興事業 1,024万円（一部再掲）

【勝山振興局地域振興課】

- ・重伝建対策予備調査（建築履歴など）
- ・歴史文化伝承団体支援 など



地域魅力化コーディネーター配置（再掲） 3,594万円 【地域みらい創生課】

- ・集落支援員制度を活用し、全振興局へコーディネーター配置（9名）
（地域と行政の橋渡し役として活躍、地域振興事業をサポート）



※イメージ（写真は地域おこし協力隊）





令和8年度
当初予算のポイント
物価高騰対策

物価高騰対応重点支援地方創生交付金

総事業費1.8億円（内交付金額1.6億円）

福祉・医療・介護等関連物価高騰支援 4,331万円（一部再掲）

【福祉課、健康推進課、子育て支援課、高齢者支援課】

- ・福祉事業所物価高騰支援 750万円
- ・医療機関物価高騰支援 1,437万円
- ・介護事業所物価高騰支援 2,015万円
- ・保育施設物価高騰対策支援 129万円

水道基本料金の減免支援 1.0億円【上下水道課】

- ・水道基本料金を4か月間減免します。

給食費の支援 3,597万円（一部再掲）

【教育総務課・子育て支援課・高齢者支援課】

- ・高騰している給食材料費の負担軽減のため、小中学校、こども園、福祉サービスの給食費を支援します。

- その他、ごみ収集や学校給食などのサービス・施設管理の委託料、道路や河川等の維持補修費、改修等に係る投資的経費など、様々な分野で物価高に対応した価格転嫁を見込んだ予算編成としています。



	R7 : 9.1億円	R8 : 1.8億円
市民の暮らしを支える	<p>まにいポイント付与・キャンペーン（1月追加あり） ・省エネ対応機器導入補助 ・園・小中学校の給食支援 ・高齢者の給食支援（1月追加） など</p> <p>3.4億円</p> <p>・子育て応援手当（12月追加+1月追加）</p> <p>1.4億円</p>	<p>切れ目なく支援</p> <p>まにいポイント付与・キャンペーン（R7補正分継続） ・水道料金の減免支援（新規） ・園・小中学校、福祉サービスの給食支援（継続）</p> <p>1.3億円</p>
地域のサービス・産業基盤を支える	<p>福祉・医療・介護・保育関連物価高騰支援 ・農林業者物価高騰対策支援（1月追加あり） ・産業・観光事業者支援（1月追加） ・集会所LED補助（1月追加） など</p> <p>4.3億円</p>	<p>福祉・医療・介護・保育関連物価高騰支援（継続） ・バス乗務員確保支援（新規）</p> <p>0.5億円</p>



令和8年度

当初予算のポイント

持続可能な財政運営

真庭の未来を拓く公共施設最適化

「こどもまんなかのまちづくり」や、真庭高校久世校地利活用基本方針に定める「真庭の多彩な人材が交流し学びあうインクルーシブスクエア」という考え方を、単なる理念にとどめることなく、都市空間の再編、公共施設の配置、地域支援体制の構築を通じて、下記の4つの拠点が相互に補完し合い、民間運営の活用も検討しつつ、公共施設の最適化を行っていくことで、**将来の真庭の持続的发展**へつなげていきます。

防災
体育
子育て

防災・健康

北町防災公園
(防災アリーナ)



文化・発信

エスパス
(文化・生涯学習・図書館)



芸術文化
公民館
図書館

R8 エスパスホール改修調査 900万円
【スポーツ・文化振興課】

保健福祉
子育て支援
相談支援

福祉・共生

真庭共生拠点
(保健福祉会館)



人材・交流

久世校地
(教育・研究・産業・子育て)



人材育成
産業創出
交流・定住
子育て

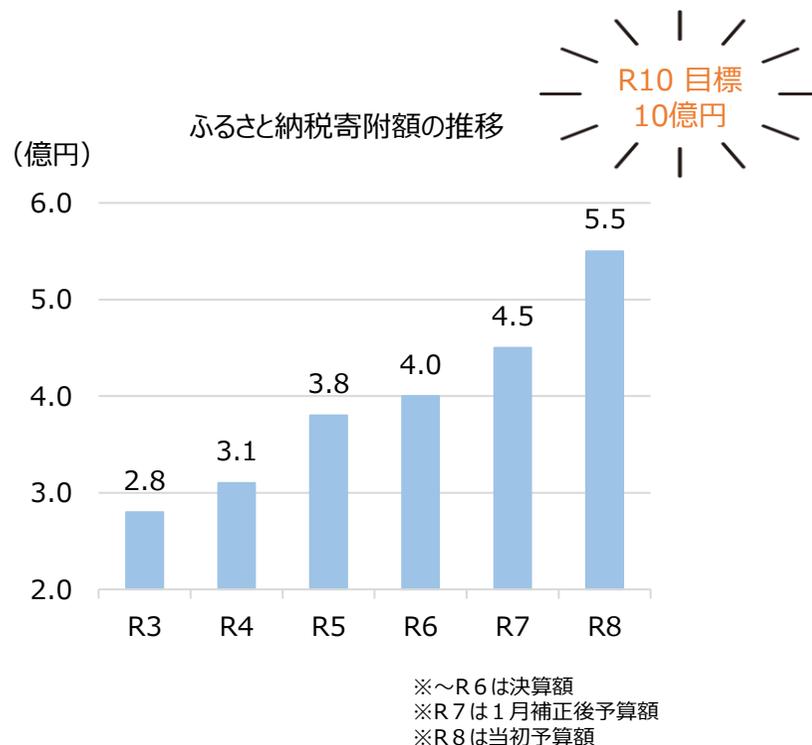
R8 真庭共生施設基本計画策定 1,595万円
【政策推進監】

久世公民館解体設計 875万円 【生涯学習課】 ※R9 解体

R8 まにわ地域共創拠点協議会設置・運営 1,650万円
【政策推進監】

財源確保対策

- ・ふるさと納税寄付金 **5.5億円** 【地域みらい創生課】
魅力的な返礼品とともに、市のまちづくりの方向性やブランド力をPRし、本市のファンを増やしながら、ふるさと寄附金のさらなる確保を目指します。
- ・企業版ふるさと納税寄付金 1,700万 【総合政策課】
- ・基金運用収入 8,800万円 【会計課】
- ・グリーンナブルブランド商標権収入 300万円 【産業政策課】



業務改善・dX推進対策

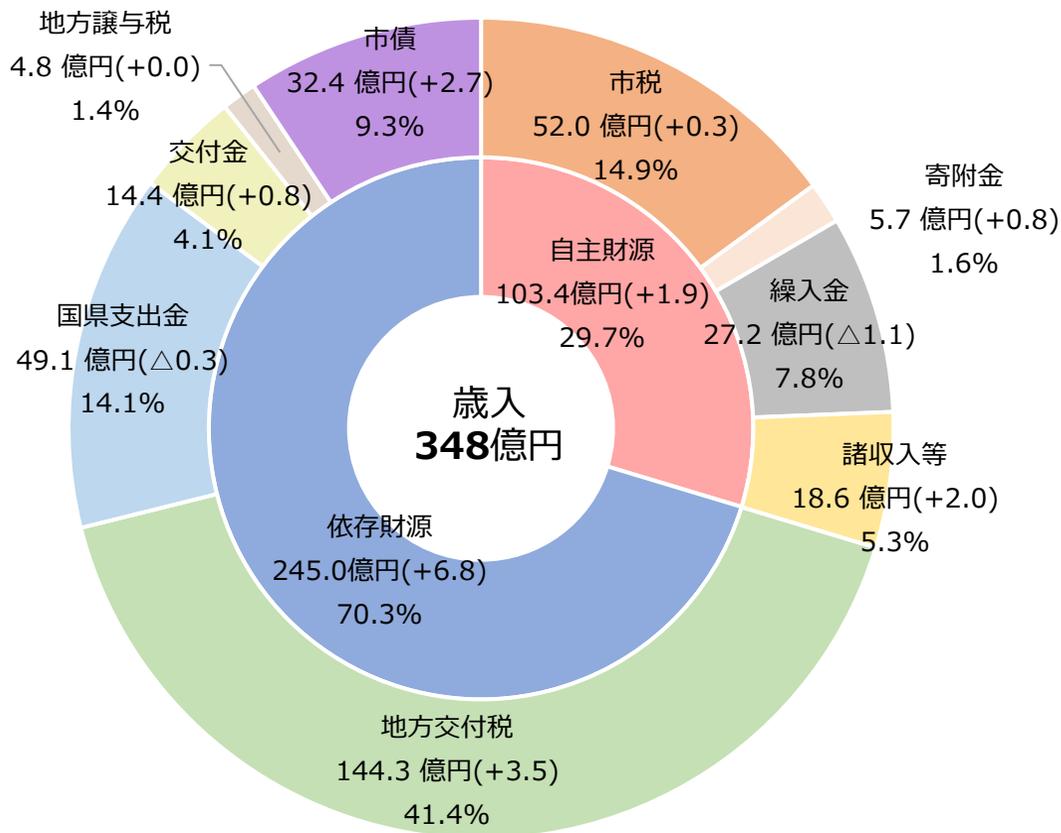
- ・経常的な事務事業については、前年度比マイナス1.0%のシーリングの枠配分方式を導入し、物価高騰の影響を最小限に留めるよう各部署における主体的な見直しを行いました。
- ・政策的な経費についても、財源の有効活用の徹底を踏まえた新規事業の立上げ、既存事業の見直し・再構築に努めました。
- ・デジタル技術（AI等）の活用や民間活力の導入による業務の効率化・コスト削減に努めます。
- ・本市と他市町村で構成する「(一社)岡山中央総合情報公社」を通じて、業務の共同発注などの取組みを推進し、効率化・コスト削減に努めます。
- ・施設照明のLED化、公用車へのエコカー導入により、省エネルギー化と電気料・燃料費の抑制を図っていきます。



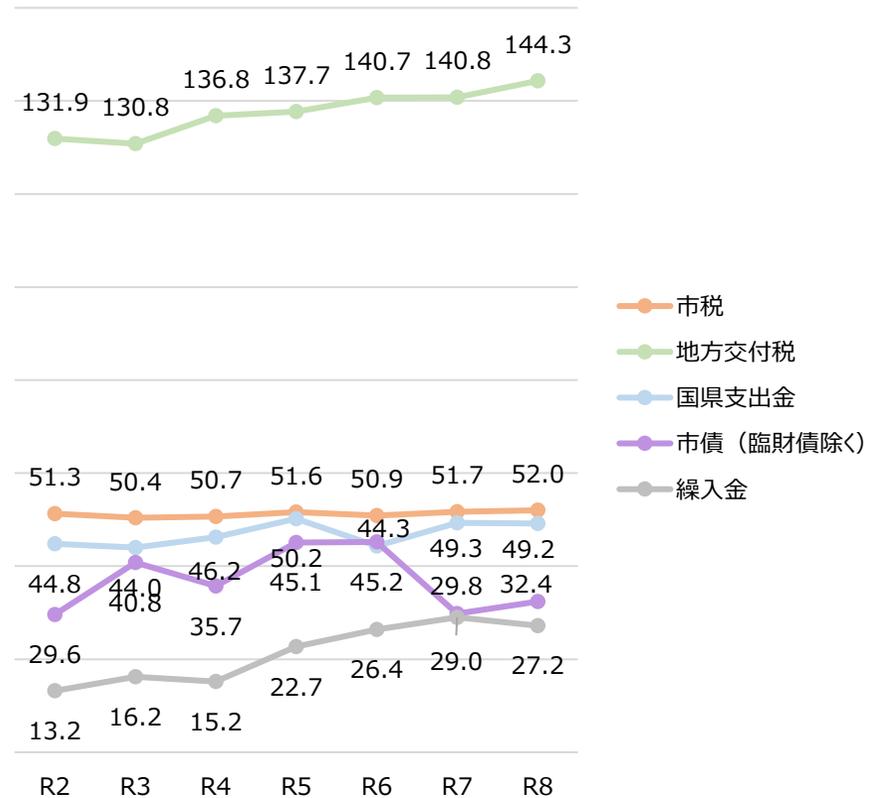
令和8年度
当初予算のポイント
関連資料

歳入予算の内訳

歳入は、市税や繰入金などの自主財源が29.7%で、地方交付税や国・県支出金などに依存している状況です。前年度と比べると、歳入確保の取り組みとして、ふるさと納税などの寄附金は16.3%、0.8億円の増となっています。また、市債は9.1%、2.7億円の増となっています。



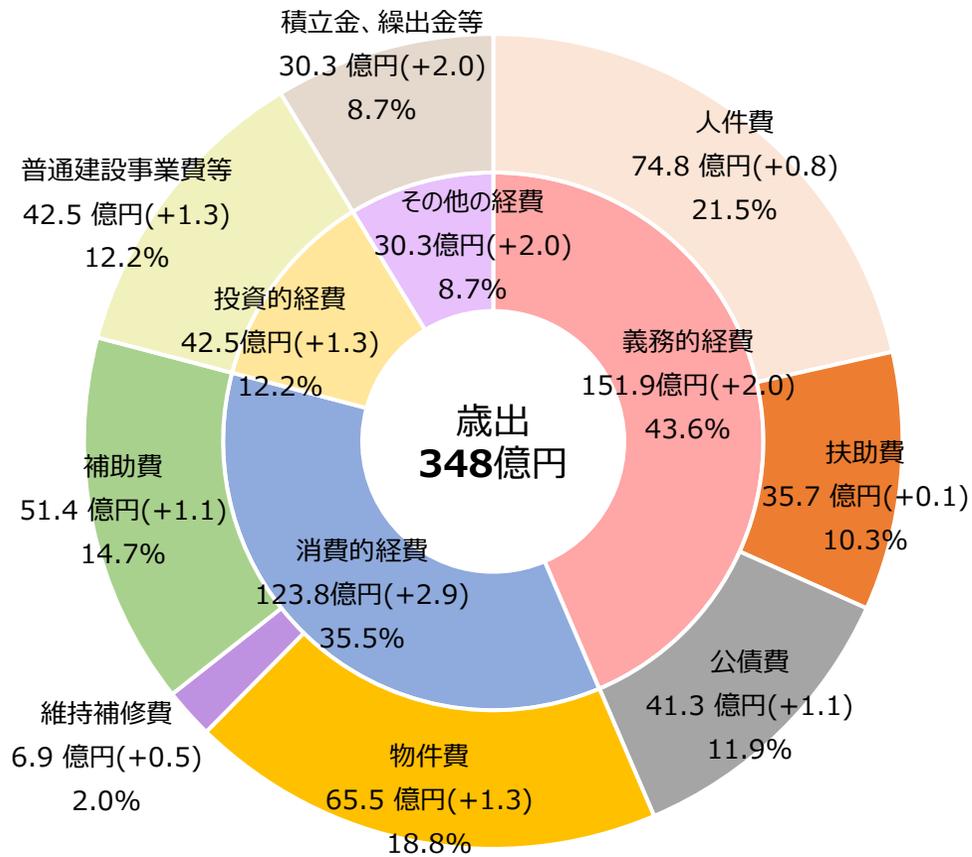
歳入当初予算の推移 (億円)



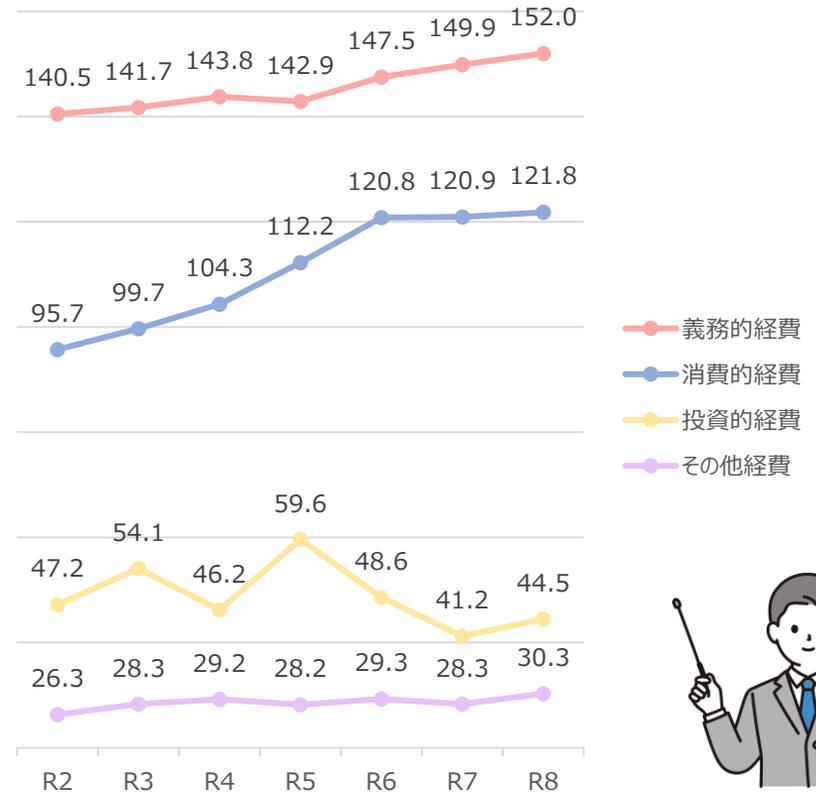
※R3、R7は肉付後予算額

歳出予算の内訳（性質別）

歳出は、人件費や公債費、社会保障関係費などの義務的経費が全体の43.6%を占め、2.0%増となっています。また、普通建設事業費等の投資的経費は、久世第二こども園(仮称)整備などの大型事業に伴い、前年度と比べ全体で12.2%、約1.3億円の増となっています。



歳出当初予算の推移 (億円)



※R3、R7は肉付後予算額



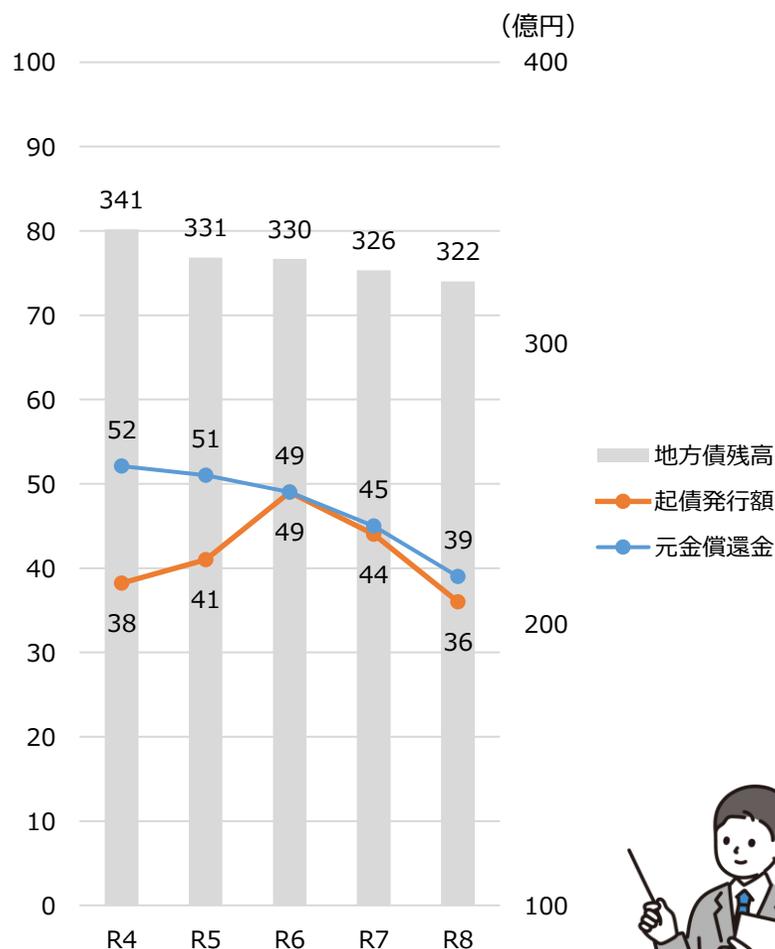
地方債の活用

- 令和8年度予算では、将来世代への負担も考慮しながら計画的に活用することで、起債発行額は前年度予算（肉付後）に比べて2.7億円増の32.4億円となりました。
- 公共施設やインフラ施設の整備に充当する市債について、地方交付税措置のある有利なものを中心に活用し、実質的な将来負担の軽減に努めました。

<R8 主な起債事業>

起債の目的	限度額 (百万円)	交付税 措置率
過疎対策事業	2,625	70%
緊急自然災害防止対策事業	453	70%
緊急防災・減災事業	100	70%
脱炭素化推進事業	25	30%
デジタル活用推進事業	28	50%

地方債の推移（一般会計）



※～R6は決算額
※R7、R8は繰越分を含めた見込み額



基金の活用

基金繰入金 27.2億円

財政調整基金：1,130百万円
 減債基金：108百万円
 特定目的基金：1,484百万円

- 令和8年度予算では、人材育成やこども子育て関係経費など、未来へ投資するため特定目的金を14.9億円繰り入れます。
- 基金繰入総額は前年度予算（肉付後）に比べ1.7億円、6.0%減の27.2億円となりました。

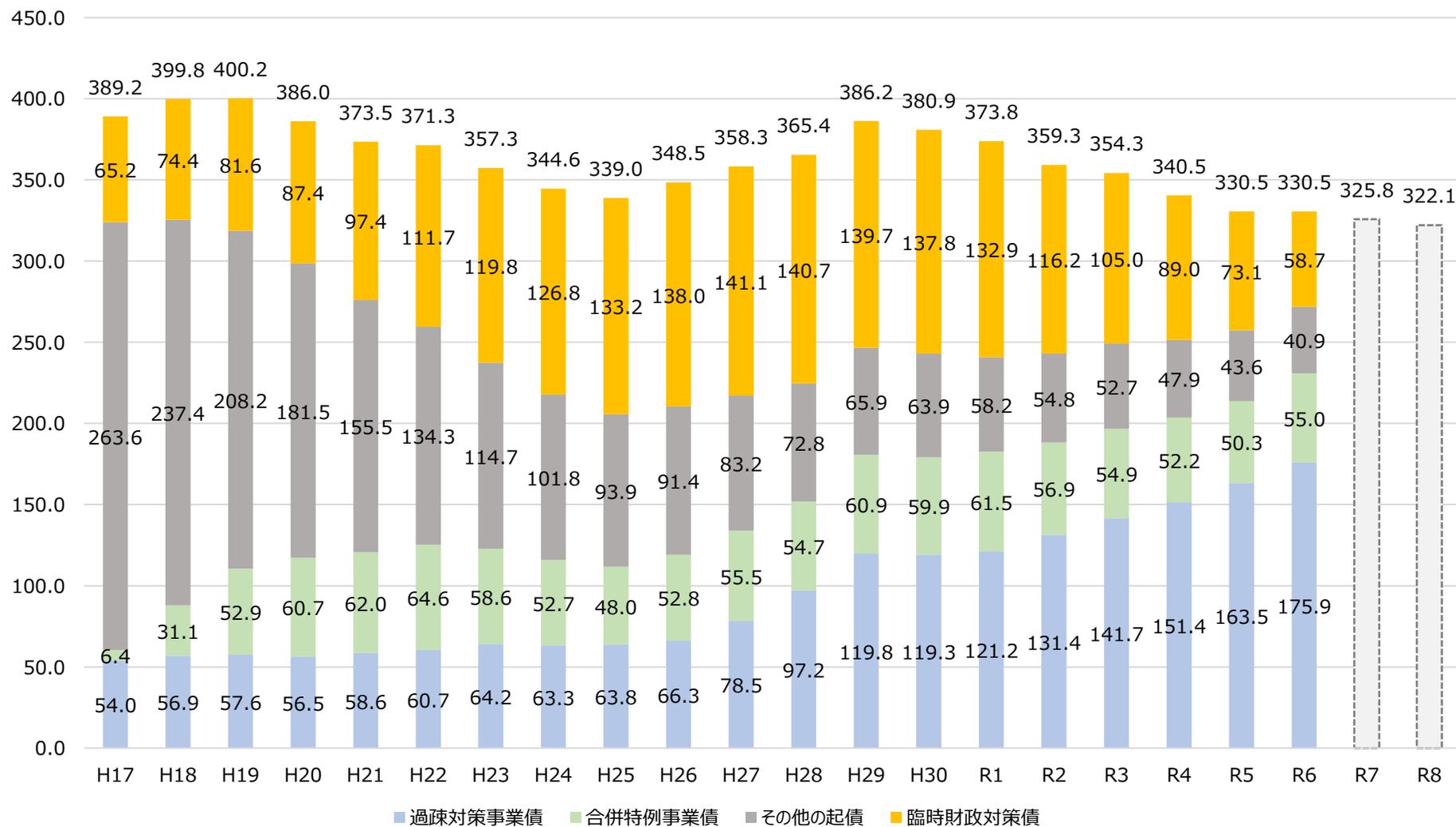


国庫補助金や地方債など、有利な財源を検討しながら、基金についても積極的に活用していきます。

		(百万円)	
	特定目的基金	繰入額	R8年度末残高 (見込み)
	公共施設整備等基金 【財政課】	234	11,089
	振興基金 【総合政策課】	414	3,284
	未来を担う人応援基金 【総合政策課】	151	656
	ゆめ学び創造基金 【政策推進監】	37	144
	情報化施設整備基金 【秘書広報課】	—	1,137
	学校施設整備基金 【教育総務課】	24	347
	ふるさと真庭応援基金 【地域みらい創生課】	447	517
新	企業版ふるさと納税基金 【総合政策課】	—	5
	認定こども園等施設整備基金 【子育て支援課】	—	319
	旧遷喬尋常小学校整備利活用基金 【スポーツ・文化振興課】	13	278
	森林林業・木材産業活性化基金 【林業バイオマス産業課】	147	119
	馬と人との共生基金 【スポーツ・文化振興課】	17	41
新	一般廃棄物最終処分場解体等基金 【環境課】	—	147

地方債残高の推移

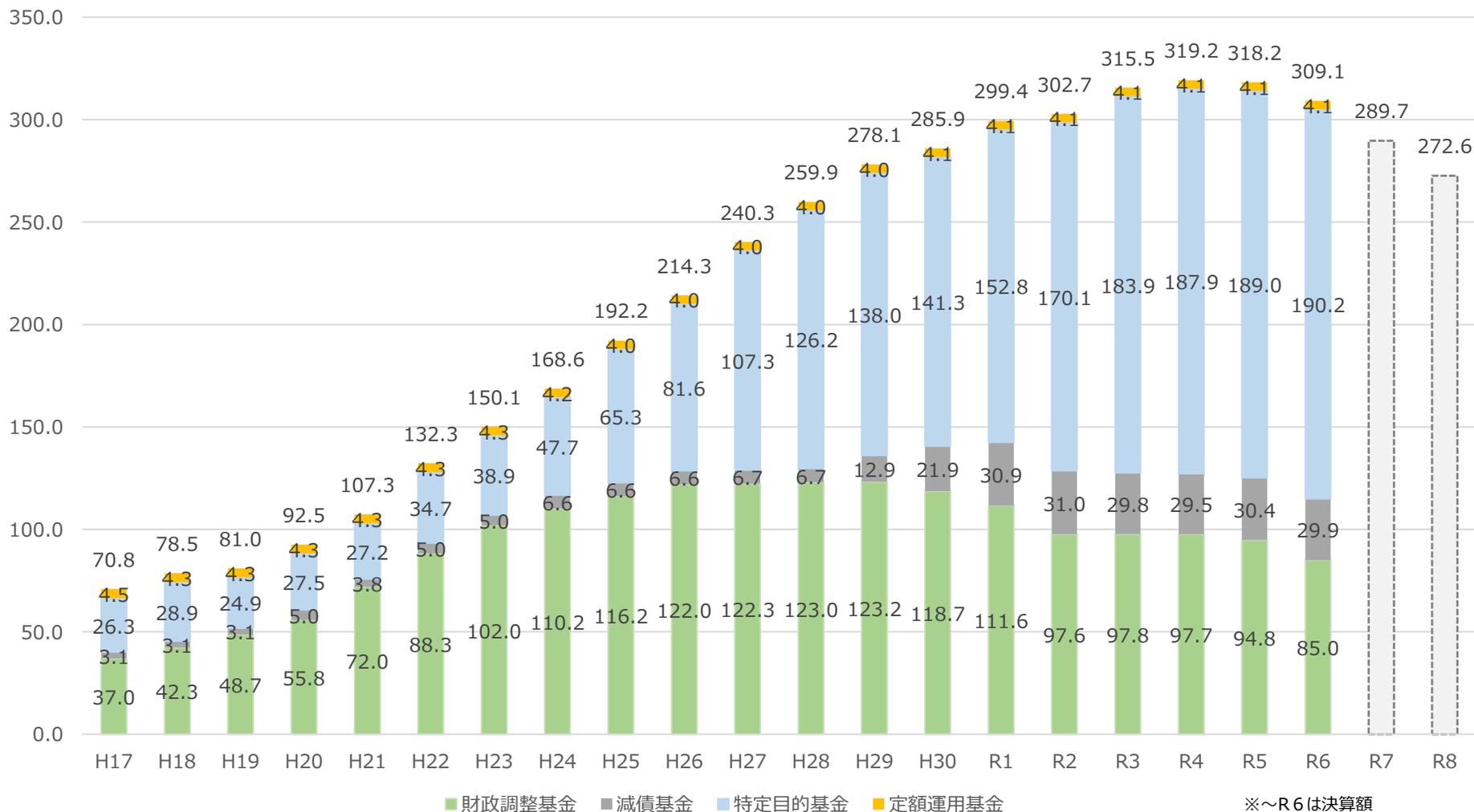
(億円)



※～R6は決算額
 ※R7、R8は繰越分を含めた見込み額

基金残高の推移

(億円)



※～R6は決算額
 ※R7は1月補正後予算額
 ※R8は当初予算額